

首都機能移転の環境に関する研究会提言(平成13年)の概要

環境に配慮した新都市の在り方

環境に配慮した新都市の目指すべき姿は「自然と共生し、環境負荷を最小化した循環型の持続的発展可能な都市」とし、都市のコンセプトとする「自然共生型都市」及び「ゼロエミッション都市」の両者を兼ね備えたものである。これは、環境への影響に配慮するのみならず、よりよい環境の創出に向けて積極的に働きかける都市の実現を目指すこととした。

「自然共生型都市」

多様な生き物と共存し、ふれあい、豊かで季節感のある景観の中で、風土に根ざしたライフスタイルを創造していくことを目指す都市。

「ゼロエミッション都市」

新都市活動に起因する環境負荷全体の最小化及び他地域での環境負荷低減への貢献の2つの手段により、トータルでの環境負荷をゼロとすることを目指す都市。